

トゲソの会活動ニュース4号

9月～12月 通算79号

2021年1月

NPO法人
五泉トゲソの会

今後の活動予定

▲ トゲソの会は 1997 年に結成。23 年目です。



■ 2月16日(火) 午後から視察
日本生態系協会関係者 視察20名

※コロナで不確定

■ 3月28日(日)

午前10時～12時
トゲソの里の清掃
水路江浚活動



1. 7校の総合学習支援終わる。年間30回の支援を行う。

トゲソの会では毎年市内小学校 7 校で4年生に総合学習の支援をしています。今年は、5 月末より支援が始まり、2 クラスの学校はクラス別に行い、計40回の支援をいたしました。

学校名	学習した日	回数
愛宕小学校	5/26・6/2・6/16×2クラス	6回
五泉小学校	6/3・6/17・7/1×2クラス	6回
川東小学校	5/29・6/12・6/26・8/28・9/4	5回
五泉東小学校	6/1・6/23・7/10・9/7	7回
村松小学校	6/8・6/22・9/11・9/15	7回
五泉南小学校	5/28・6/11・6/25・9/17	7回
五泉大蒲原小	6/19・6/30 終了	2回
計(7校)	5月21日～7月10日	40回

(※2クラスの学校はクラスごとに同日に2回支援しました)



▲村松小発表会-篠野秀人さんと一緒に発表会出席 (11/27)



八月・川東小新江川調査



七月・五泉小浄化実験学習習



九月・南小ピオトップ調べ



六月・大蒲原小能代川調査



六月・愛宕小水の循環学習



七月・東小学校太田川調査

▲みんな、一生懸命に水のことについて学習してくれました。ありがとうございました。

2、生涯学習フェスタ中止で展示リレーを行う(8月17日・31日)

◆10月4日に計画していた今年の生涯学習フェスティバルが中止となりました。その後、生涯学習フェスティバル企画部会で話し合いをした結果、やめるだけでいいのかとなりました。

そこで、コロナ時代の新しい試みとて、予定していた当日のパネルを2か所で展示してリレー式に発表して行こうとなりました。

トゲソの会は第一弾として8月17日から2週間ずつ、総合会館と村松支所で「私たちはこんな活動をしていますよ!」との展示をいたしました。今回は「ゲストハウス五ろり」と一緒でした。続けて13団体が展示しました。新潟日報さんにも取材を受け報道していただきました。コロナに負けず、市民の皆さんが「笑顔となれる生涯学習の楽しみ」を訴え、展示リレーを行いました。



▲五ろりさんと大ホールで展示

3、坂田家に2団体が訪問 - 五泉小6年生(9/14)、愛宕会(9/16)



▲五泉小6年生見学(9/14~15)



▲村松出身者、愛宕会様見学 (9/16)

◆9月中旬には五泉小学校6年生児童と村松地区出身の親睦団体愛宕会さんが坂田家を訪問されました。

五泉小学校6年生の児童は2日間にわたり坂田家を訪問してくれました。楽しみにしていた修学旅行が残念ながら中止となりました。その代わりに市内5コースに分かれて様々な探訪の旅を計画されたのでした。

素晴らしい企画でした。きっと児童には新しい発見の灯を点けてくれたものと思います。坂田家には「古きよきもの探訪」をテーマに訪ねていただきました。

見学では江戸時代にタイムスリップをしていただき、当時に使っていた漆器を見てもらいました。漆器は環境に優しい道具です。日本は木の文化国です。

◆愛宕会さんは、村松町出身者の会で郷土の学習、歴史探訪をされているそうです。20の方が訪れてくれました。

漆器の並べ方、坂田家に残されている文化財などを見ていただきました。五泉は幕末期、沼津藩が支配していたことなどを知っていただきました。

4、山口育英奨学会様の報告会に出席する(10月25日)

◆10月下旬、長岡市小国の公益財団法人山口育英奨学会様の自然環境保護活動助成発表会があり、2名で出席してきました。

助成を受けたのは昨年の事業で「どばっしこ清水」の修繕工事でした。この助成金のおかげで、出にくくなっていた湧水は小屋の中から汲めるようになり、大変助かりました。

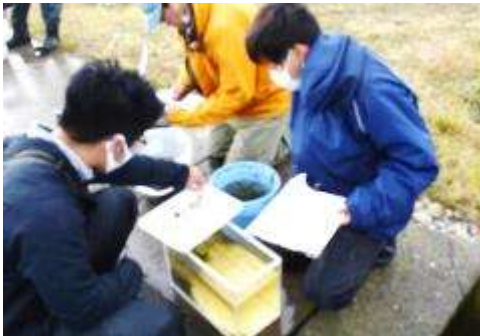
山口家は小国町地区の大庄屋で鉄道や銀行、石油の事業を興し、油田をはじめとした石油事業で大成功を収めました。

そして現在は奨学金を延べ1805名、18億7千万円も贈っており素晴らしい人材育英の事業をしています。今回は、当会にとって2回目となる助成金をいただきました。本当にありがとうございました。



▲中村理事長の助成事業発表

5、20回目のトゲソ生息数調査を実施する(10月25日)



▲高校生、専門学校学生さんの支援

◆20年間も、毎年秋になると生息調査をしています。

10月25日に第20回トゲソの生息数調査を行いました。今回はフクドジョウが捕獲されびっくりしました。フクドジョウは北海道産で、こんなところにいるはずがない魚類です。最近、早出川太川橋付近でも捕れるようになり懸念していました。そのフクドジョウがこんな所まで入り込んで来たのです。

生息調査は予想された小雨が外れ、かなり土砂降りの中で厳しい作業となってしまいました。

強い通り雨が2回もやってきて、ずぶ濡れの中の調査となりました。調査を手伝ってくださった皆様は、本当にご苦労様でした。

参加者は子どもを入れて総勢55人でした。大勢参加してくれたので、何とか午前中で終了しました。お昼はカレーをいただき、参加いただいた団体、個人の自己紹介をして交流を終えることができました。

トゲソの生息数は、ほぼ昨年並みで100個体以上確認できました。詳しくは別紙の新聞記事をご覧ください。

毎日新聞さん、新潟日報さんから取材していただきました。

6、五泉中学校で「昔を知る」学習支援をする(10月27日)

『江戸時代、五泉には武士がいたでしょうか?』

◆こんな質問を五泉中学校生徒さんにしてきました。10月末に五泉中学校1年生の地域学習に呼ばれました。

本当はトゲソの自然についてのお話でした。生徒さんたちは3年前に五泉南小学校や東小学校でトゲソの学習をしていたので、トゲソの他に江戸時代の五泉へさかのぼってみました。五泉は文政13(1830)年から約40年間沼津藩の飛地でした。



だから、190年前には五泉小学校の所に陣屋という奉行所があって30人くらいの侍がいたことを話しました。

市史には様々なことが書かれています。昔を知ることは、今を学ぶことにつながります。当時、目明かし(警察官)などという職業があったこと、ロウソク屋などのお店があったことなどを知ってもらいました。今の中学生は、どう受け止めてくれたでしょうか。

7、新潟県環境フェスティバルに出展する (11月8日)



▲楽しんでくれた魚釣りゲーム

◆11月8日(日)、にいがた環境フェスティバルが新潟市で開かれました。五泉トゲソの会も出展しました。今年はコロナ騒ぎで昨年より少人数と考えていました。開始から、子ども連れの方が多く来られました。トゲソの会では、外来種がマイナス、日本の魚はプラスとなる魚釣りゲームを実施しました。小さい子どもたちに人気で大忙しでした。

また、特定外来種を知ってもらうために実施した「ザリガニつかみ」(手袋をはめ掴む)も恐る恐るチャレンジしてくれた子どもたちが多くいました。

8、文化財振興の動画作成助成を受ける。 (11月10日)



◆トゲソの会が管理している文化財坂田家紹介の動画ができました。劇団Y2工房のスタッフさんから、手伝っていただき完成しました。

ナレーションが素晴らしく編集の完成度も高い動画となりました。これは新潟県が運営している「新潟文化物語」の助成を受けて作成したものです。Uチューブ、twitter、facebookで動画がアップされています。現在、文化活動や文化施設などがコロナの影響で、演奏、公開などができないことを受けて、助成していただきました。

多くの方に見ていただければ幸いです。シェア、いいね等に御協力をお願いします、
(90)【新潟県文化祭 2020】特定非営利活動法人五泉トゲソの会(一般社団法人坂田家を保存する会) - YouTube 「新潟文化物語フェイスブック」で検索してご覧ください。



☆郵便局長会の皆様、草刈りありがとうございました。

★10月のトゲソの生息数調査の前に、地元の郵便局長会さんから事前の草刈りをしていただきました。15名もの方が来てくれました。実は、事業をするためには事前の準備がかかせないのです。お忙しいところ、本当に助かりました。



- 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 中村吉則
自宅 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1
電話・FAX 0250-22-0271 メール: togeso@beige.plala.or.jp
- 事務所 住所 959-1643 五泉市土堀295 ※スタッフは月・金午後より在宅予定。
電話・FAX 0250-47-4440 メール togeso@jewel.ocn.ne.jp
- ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>
フェイスブック <https://www.facebook.com/togeso>